

代表質問



今定例会では、会派を代表する5人の議員が、新年度の施政方針や予算について「代表質問」を行いました。

各議員の詳しい質疑内容は、市議会ホームページの議会中継(録画放送)をご覧ください。

★質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。

3月 定例会概要

2/18~3/17・会期29日間

2月18日 本会議(第1日)

- 市長提出案件の上げ
- 市長の施政方針、提案説明
- 市長提出議案11案件の表決

2月29日~3月3日 本会議(第2~5日)

- 代表質問、総括質問
- 3月7日~10日 常任委員会
- 7日 総務経済常任委員会
都市建設常任委員会
- 9日 環境厚生常任委員会
教育民生常任委員会
- 10日 環境厚生常任委員会

3月17日 本会議(第6日)

- 市長提出議案の討論、表決
- 請願の表決
- 会議案の提出、表決
- 追加議案の提案説明、表決

清風クラブ

選ばれるまち、住み続けるまちへ

野崎 審也 議員



市長の決意

問 新総合計画の策定に当たり、市長のまちづくりの決意について伺う。

市長 本市は、製造業や農水産業などそれぞれの産業が強みを持っており、広域的な幹線道路網も整備され、魅力が広くアピールする環境が整ってきた。選ばれるまち・住み続けるまちとなり、子や孫へ確かな平塚をつなぐことができるよう、市政にまい進する。

職員の意識改革

問 民間活力を活用する上で、職員の発想の転換を図るなど意識改革は重要だが、どのような視点で進めているのか。

市長 全体最適の考えの下、市全体の中から大きなくくりで課題や物事を捉えてい

く視点を大切にしなければならぬ。行政には法律や条例のしびりがあるが、市職員には、最初からできないと諦めず、どうしたらできるかを考えてほしいと常に述べている。

財政健全化の方策

問 税収を補うためには、財源をどのように積極的に確保していくのか。

市長 歳入では、市税をはじめとした収納率の向上や受益者負担の適正化に努めるとともに、将来の税収につながるインフラ整備や企業支援を積極的に行い、自主財源の充実を図る。また、将来の負担を考慮した市債の発行に加え、公共施設整備保全基金や国・県の補助制度を活用する。歳出では、経常経費の一般財源について事業内容を精査して前年

度より10%削減し、特別職給料や部課長級の管理職手当を削減した。

ベルマーレへの支援

問 湘南ベルマーレへのさらなる支援に向けて、どのようなことを充実させようと考えているのか。

企画政策部長 昨年、ShonanBMWスタジアム

平塚の最上部に170席を増設した。今後、バックスタンド中央部に観客席を増やす計画である。

都市整備部長

試験会場、練習場の利用の減免や優先確保、小学生が無料入場できるドリムバスポート事業などで支援している。今後、一部不具合のある照明塔のLED化を検討する。

地域経済の活性化

北の核ツインシティ
問 大神地区のまちの姿はいつからどのように見えてくるのか。

都市整備部長 ツインシティは、昨年の12月から造成工事に着手し、数年後には大きな道路の骨格が見えてくる。各企業への土地の引き渡しに向けた整備を進め、3、4年後の開業を考

公明ひらつか

市長に問う 28年度当初予算から

永田 美典 議員



問 予算の一律10%削減の影響をどう見込んでいるか。

市長 削減は、財源確保の手段である。積極的に重点施策へ配分しながら、財政規律を守り、費用対効果のある予算編成をした。

問 無駄を省くだけでなく、稼ぐ転換をすべき時期にきている。取り組みを伺う。

企画政策部長 駐車場の有料化を含めて使用料などを見直し、受益者負担の適正化を進めていく。

問 ひらつか版政労使会議の設置について、家計消費拡大を含め見解を伺う。

市長 会議は労使が話し合う重要な場であり、県の状況や各団体の意向を確認する。消費拡大は、所得増加

が影響し、安定して働ける場所の確保が不可欠である。産業振興施策に取り組み、消費拡大を図っていく。

問 若年女性などの貧困対策について伺う。

産業振興部長 企業も労働力不足を心配しており、相談会などで女性などが働ける環境づくりに努めていく。

問 観光振興とシティプロモーションの連携を伺う。

市長 観光振興とシティプロモーションの連携を伺う。

で、ツインシティと平塚駅周辺市街地とを結ぶ公共交通軸を位置付けている。バス専用レーンや公共交通優先信号、連節バスなどの高次な機能を備えた路線バスシステムを想定している。今後、勉強会を立ち上げ、導入に向けて課題を整理し、実現に向けて進めていく。

市長 海岸エリアを中心に新しい魅力を発掘し、市外からの交流人口を増やしたい。今ある七夕まつりなどの魅力も磨き上げ、観光客誘致と情報発信をしたい。

問 本市での総活躍社会へ向けた取り組みを伺う。

市長 年齢性別などを問わず誰もが活躍するまちを目指す。総合計画の施策を通して、安心して生活を営め、生きがいや希望を持てる地域社会の形成に努めていく。

問 女性の活躍推進やひとり親家庭の非正規雇用、若者の雇用対策について伺う。

市長 女性が安心して働けるよう企業などに本市事業の情報提供を行う。関係機関と連携を深め、就労環境の改善を進める。

問 公共施設等総合管理計画に記載のない計画改定や評価実施、議会への報告、公表はどう行うのか。

市長 おおむね5年周期で見直し、取り組み状況は、個別の計画や事業などの中で周知、公表していく。施設全体についても、適宜、進捗状況の評価を公表する。

問 このほかの質問

平成28年度施政方針、28年度平塚市一般会計予算、平塚市民病院経営の今後について

が影響し、安定して働ける場所の確保が不可欠である。産業振興施策に取り組み、消費拡大を図っていく。

問 新たなまちづくりと商店街の相乗効果を生み出す取り組みはあるか。

市長 シニア層をターゲットに大型商業施設との差別化を進める。相互の回遊性を向上させる滞留拠点づくりを推進し、連携した共同販促活動を展開、発信する。

問 東京オリンピック事前キャンプのホストタウンとしての体制について伺う。

市長 東京オリンピック事前キャンプのホストタウンとしての体制について伺う。

市長 海域エリアを中心に新しい魅力を発掘し、市外からの交流人口を増やしたい。今ある七夕まつりなどの魅力も磨き上げ、観光客誘致と情報発信をしたい。

問 本市での総活躍社会へ向けた取り組みを伺う。

市長 年齢性別などを問わず誰もが活躍するまちを目指す。総合計画の施策を通して、安心して生活を営め、生きがいや希望を持てる地域社会の形成に努めていく。

問 女性の活躍推進やひとり親家庭の非正規雇用、若者の雇用対策について伺う。

市長 女性が安心して働けるよう企業などに本市事業の情報提供を行う。関係機関と連携を深め、就労環境の改善を進める。

問 公共施設等総合管理計画に記載のない計画改定や評価実施、議会への報告、公表はどう行うのか。

市長 おおむね5年周期で見直し、取り組み状況は、個別の計画や事業などの中で周知、公表していく。施設全体についても、適宜、進捗状況の評価を公表する。

問 このほかの質問

平成28年度施政方針、28年度平塚市一般会計予算、平塚市民病院経営の今後について

が影響し、安定して働ける場所の確保が不可欠である。産業振興施策に取り組み、消費拡大を図っていく。

問 新たなまちづくりと商店街の相乗効果を生み出す取り組みはあるか。

市長 シニア層をターゲットに大型商業施設との差別化を進める。相互の回遊性を向上させる滞留拠点づくりを推進し、連携した共同販促活動を展開、発信する。

問 東京オリンピック事前キャンプのホストタウンとしての体制について伺う。

市長 東京オリンピック事前キャンプのホストタウンとしての体制について伺う。

問 新たなまちづくりと商店街の相乗効果を生み出す取り組みはあるか。

市長 シニア層をターゲットに大型商業施設との差別化を進める。相互の回遊性を向上させる滞留拠点づくりを推進し、連携した共同販促活動を展開、発信する。

市長 海域エリアを中心に新しい魅力を発掘し、市外からの交流人口を増やしたい。今ある七夕まつりなどの魅力も磨き上げ、観光客誘致と情報発信をしたい。

問 本市での総活躍社会へ向けた取り組みを伺う。

市長 年齢性別などを問わず誰もが活躍するまちを目指す。総合計画の施策を通して、安心して生活を営め、生きがいや希望を持てる地域社会の形成に努めていく。

問 女性の活躍推進やひとり親家庭の非正規雇用、若者の雇用対策について伺う。

市長 女性が安心して働けるよう企業などに本市事業の情報提供を行う。関係機関と連携を深め、就労環境の改善を進める。

問 公共施設等総合管理計画に記載のない計画改定や評価実施、議会への報告、公表はどう行うのか。

市長 おおむね5年周期で見直し、取り組み状況は、個別の計画や事業などの中で周知、公表していく。施設全体についても、適宜、進捗状況の評価を公表する。

問 このほかの質問

平成28年度施政方針、28年度平塚市一般会計予算、平塚市民病院経営の今後について

が影響し、安定して働ける場所の確保が不可欠である。産業振興施策に取り組み、消費拡大を図っていく。

問 新たなまちづくりと商店街の相乗効果を生み出す取り組みはあるか。

市長 シニア層をターゲットに大型商業施設との差別化を進める。相互の回遊性を向上させる滞留拠点づくりを推進し、連携した共同販促活動を展開、発信する。

問 東京オリンピック事前キャンプのホストタウンとしての体制について伺う。

市長 東京オリンピック事前キャンプのホストタウンとしての体制について伺う。

問 新たなまちづくりと商店街の相乗効果を生み出す取り組みはあるか。

市長 シニア層をターゲットに大型商業施設との差別化を進める。相互の回遊性を向上させる滞留拠点づくりを推進し、連携した共同販促活動を展開、発信する。